

(3) 剣地北部配水池の被害状況

剣地北部配水池は容量 126m^3 で、震源近くに位置し、震度 6 弱～震度 6 強と推定される。地元企業（A 社）による施工であった。被害は南北方向の上部パネルの大部分が破損しており、内部の補強材も破断している。大部分はパネルの溶接部の破断によるものであり、母材は変形しているが、破断している箇所は少ない。基礎コンクリート部は健全であり、周辺道路や盛土等にも沈下・損傷等の被害は見られなかった。

破損により配水池機能が損なわれたため、仮設のパネルタンク（ 50m^3 ）を設置し、配水している状況である。

【施設諸元】

名称	剣地北部配水池
有効容量	$105\text{m}^3 \times 2 \text{ 池} = 210\text{m}^3$
竣工年度	平成 13 年度
材 質	SUS444, SUS304, SUS324J4L
基礎形式	直接基礎



写真 5.1 剣地配水池の被害状況 (1)